授業科目名	【G】 【H】	英語Ⅳ 英語Ⅳ	区分 選択必修	開講年次	【G】2 【H】2	単位数	【G】1 【H】1	
科目区分	外国語科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	ビジネス英語・司法英語プレゼンテーション(通訳翻訳を含む)				担当者	河原 伸一		
授業概要	【概要】	ビジネスおよび司法に関する実践的な英語表現を用いたプレゼンテーション(通訳翻訳を含む)ができるために、プレゼンテーション原稿の作成、原稿の読み上げ、メモの利用、質疑応答について学ぶ。プレゼンテーション技術の向上に取り組むとともに、プレゼンテーション内容の質向上のための参考文献の読み込み、分析にも取り組む。また、法学部の特性に鑑み、弁護士接見や裁判通訳に関する英語表現も学ぶ。授業時間外に、英語で行われる千葉地裁裁判を傍聴することも奨励する。						
	【到達目標】	ビジネスおよび司法に関する実践的な英語表現を用いたスピーキング・プレゼンテーションができるようになる。また、法務に役立つ通訳翻訳力を身に付ける。						
履修条件	英和辞書とノートを用意すること。初回の授業にノートを持参すること。 原則として、英語Ⅲを履修していること							
アクティブラーニングの方法	【○】	事前学習型	【-】	反転授業	【-】	調査学習	【○】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【○】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	◎ (よく当てはまる)						
他科目との関連性	原則として、英語Ⅲの単位を修得していること。							
教科書	教員作成のプリントを使用する。							
参考書	TOEICや英検関連教材、英字新聞など(開講時に指示する)							
評価方法	授業参加度、ノート作成 50% 学習到達度の確認テスト 50%							
フィードバック方法	問題出題の当日または翌週に、模範解答及び解説を示す。							
評価基準	授業内容について、これを十分理解した学生は、S又はAとする。授業内容についての理解がやや不足している学生は、B又はCとする。授業内容についての理解が著しく不足している学生は、D又はEとする。なお、試験欠席など評価不能の場合は、Fとする。							

授業科目名	【G】	英語Ⅳ	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】1
	【H】	英語Ⅳ	選 択 必 修		【H】2		【H】1
授業回数	授業内容						
1	基礎英語力確認テスト及び解説・応用						
	予習:	単語リストの予習		復習:	プリントの誤った部分の復習		
2	プレゼンテーションの基本工程・技術						
	予習:	単語リストの予習		復習:	プリントの誤った部分の復習		
3	英文の読み方:適切な声の大きさ						
	予習:	単語リストの予習		復習:	プリントの誤った部分の復習		
4	英文の読み方:正しい発音						
	予習:	単語リストの予習		復習:	プリントの誤った部分の復習		
5	英文の読み方:正しいアクセント						
	予習:	単語リストの予習		復習:	プリントの誤った部分の復習		
6	英文の読み方:正しいイントネーション						
	予習:	単語リストの予習		復習:	プリントの誤った部分の復習		
7	英文の暗唱:適切な声の大きさ						
	予習:	単語リストの予習		復習:	プリントの誤った部分の復習		
8	英文の暗唱:正しい発音						
	予習:	単語リストの予習		復習:	プリントの誤った部分の復習		
9	英文の暗唱:正しいアクセント						
	予習:	単語リストの予習		復習:	プリントの誤った部分の復習		
10	英文の暗唱:正しいイントネーション						
	予習:	単語リストの予習		復習:	プリントの誤った部分の復習		
11	プレゼンテーション演習(原稿あり)						
	予習:	単語リストの予習		復習:	プリントの誤った部分の復習		
12	プレゼンテーション演習(メモあり)						
	予習:	単語リストの予習		復習:	プリントの誤った部分の復習		
13	プレゼンテーション演習(暗唱)						
	予習:	単語リストの予習		復習:	プリントの誤った部分の復習		
14	プレゼンテーション演習(質疑応答を含む)						
	予習:	単語リストの予習		復習:	プリントの誤った部分の復習		
15	総括と学習到達度の確認テスト						
	予習:	単語リストの予習		復習:	プリントの誤った部分の復習		
その他	授業ごとの予習・復習時間は、各120分程度を目安としてください ※G・Hカリ:【選択必修(C)】						